



広
報

2010. 1

No. 46

あびら

新春を迎えて

強固な安平町の基盤 づくりに向けて



長孝 平町 安瀧

町民の皆様新年あけましておめでとございます。清々しく希望に満ちた平成22年（2010年）を迎えられましたことを謹んでお慶び申し上げます。

昨年は民主党への政権交代という歴史的な変革の年であり、私たちが住んでいる地域から首相が誕生するという輝かしい年でありました。そして事業仕分けに代表される無駄を省き、必要とされるとこ

を招き心が痛む思いであり、これだけは天候だのみで今年こそ良い年であるよう願うばかりです。

昨年は合併して4年目にして新町としての初のイベント「うまかまつり」が7月4日・

5日の両日天候に恵まれ4万人の観客を迎え大成功のうちに終わることができました。

また9月5日から7日にかけては「ねんりんピック全国大会」のペタンク競技が開催され、関係者のご尽力と町民皆

様のご協力により、全国各地から選手、関係者が我が町を訪れ、安平町をアピールすることができ、天候の悪いなか無事終了できました。

11月ホクレン南北北海道畜産市場の早来ホルスタイン共進会場の併設による巨大市場が開設されました。その広さは全国トップクラスであり、今後多いに期待したいものであります。また今年10月には「第13回全日本ホルスタイン共進会北海道大会」が開催されることになっております。4日間延べ10万人が全国から来訪される見込みであり、安平町を全国に情報発信できる良



い機会と思っております。

更に昨年は旧教員住宅等の改修などにより町外からの移住者を対象にした定住事業を行い、更に「おためし暮らし」事業も含め新たな取組にもチャレンジしてきました。

消防組合安平支署庁舎や児童福祉複合施設の建設、鹿公園整備など厳しい財政状況の中にあつて皆様にお約束しました事業につきましても議会をはじめ関係各位のご努力により実施することができました。

新町が誕生し4年になろうとしております。安平町総合計画のキャッチフレーズであります「くらしの笑顔が広が

るぬくもりと活力と躍動のまち」の実現を目指し、全町民が一丸となつてお取組みを戴いたことが、少しずつではあります。が、着実に実を結び始めたのではないのでしょうか。

また、旧町時代の名残りに ついても簡単に変えてしまふのではなく、良いものはそのまま「歴史・文化」として継承しつつ、これまで以上に安平町の基盤をより強固なものにしていくことが大切となります。そして行政と町民がより良いまちづくりのため、これまで以上に共に力を合わせていかなければならないと思っておりますので、なお一層のご協力のほどよろしくお願ひします。

最後になりますが、今年は寅年ということ、新しい時代に向け「力強く」、町民皆様と共に力を合わせて「手を携えて」この変革期を乗り越えることができるよう願ひいたしますとともに、町民の皆様にとりまして幸せ多き寅年となりませう心から祈願し新年のご挨拶といたします。

町民の皆さんに親しまれ、開かれた議会に



安平町議会議長 泉田英吉

町民の皆様新年明けましておめでとうございます。皆様には希望に満ち溢れた新春を健やかに迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、未だ経済不況から抜け出すことが出来ず、会社の倒産や整理・合理化が相次ぎハローワークには仕事を求める人が溢れていました。本町の主産業である農業は大きな災害はありませんでしたが七月後半の長雨や低温の影響を大きく受け、小麦は皆無、水稲外の作物も残念ながら大幅な減収となつてしまいました。また、新型インフルエンザが流行し、安平町でも各種の行事が中止や延期に追い込まれるなど、世界中を混

乱の渦に巻き込みました。

更に、先の衆議院選挙で自民党が歴史的な大敗をして民主党中心の政権に交代をいたしました。経済不況の影響をもろに受けて税収が落ち込み、厳しい財政状況の中どのような政策を実行していくのか期待と不安でいっぱいです。

また、年金や医療、教育、環境問題など私たちの生活に密着した多くの問題が山積みされており、一日でも早くより良い方向に向かうことが望まれます。

新年を迎え私たちの任期もあと残すところ四ヶ月となりました。町は今年の四月を迎えますと合併して満四年を経過いたします。

安平町のまちづくりは長期の総合計画と連動した財政計画に基づき「くらしの笑顔が広がる、ぬくもりと活力と躍動のまち」に向かい着々と進められています。今年度は、消防安平支署庁舎やはやきた子ども園も完成します。議会も改革委員会を設けこれからの議会のあり方、町民に親しまれ、開かれた議会をめざして種々議論を重ねて参りました。

その結果、四月に行われる選挙から現行一八名の定数を四名減らして一四名とし、選挙区を無くしました。また、昨年の一〇月に初めて開催した議会報告会・懇談会を継続して町民の皆様とコミュニケーションを図りながら、更なる改革に向けて引き続き努力をしていきたいと考えています。

これからも皆様の率直なご意見を遠慮無くお寄せいただければと思います。

今年の干支は寅、目標を定め積極果敢にチャレンジし、行政と町民の皆様と伴に将来に向けて確実な前進を続けていきたいと思ひます。

最後に、町民皆様にとりまして二〇一〇年が幸せと喜びの多い年でありますことを、一八名の議員一同心よりお祈り申し上げます。



建設中の「はやきた子ども園」

謹賀新年

安平町 町長 瀧 孝
副町長 幅田 和夫
田上 晴正

安平町議会

議長 泉田 英吉
副議長 竹内 亨
議員 田村 興文
星 志直
多田 政拓
工藤 隆男
谷村 琢哉
眞鍋 高一
島田 俊明
納口専納助
三間 浩
小路 健男
牧田 弘満
佐藤 進

喪中につき町議会議員の新年のあいさつを控えさせていただきます。
鳥越真由美議員、高山正人議員、山田尚孝議員、工藤芳男議員

安平町農業委員会

会長 楠野 公夫
職務代理 山田 之博
委員 大井 信弘
小西 和也
谷口 一美
田中 哲也
橋本 善一
大塚 武
鈴木 昭男
鳴 敏樹
富樫 儀禮
宮崎 義廣
西島 和行
梅田 鋭敏
山木 穰

安平町教育委員会

委員長 古卿 誠幸
職務代理 磯部 正宏
委員 足利 恵
平沖 道治

喪中につき町農業委員及び町教育委員会教育長の新年のあいさつを控えさせていただきます。
二又哲雄委員、山野宏委員、大久保五十六委員、豊島滋教育長

12月のぞきん

献血功労表彰を受賞

今年7月に長崎県佐世保市で開催された第45回献血運動推進全国大会で、陸上自衛隊北海道補給処安平弾薬支処と同早来燃料支処が金色有功章受賞しました。この賞は20年以上献血に協力した団体に贈られるもので、両支処は活動継続年数25年、献血協力回数は75回でした。

また、両支処は団体として昭和57年に感謝状と平成15年に銀色有功章をそれぞれ受けています。



早来燃料支処(写真左)と安平弾薬支処(同右)で撮影

「人権の花運動」のお礼に

花の植栽を通じて命の大切さや相手への思いやりというような基本的な人権尊重の精神を身につけてもらうことを目的に6月に町内の小学校（早来・遠浅・富岡）の児童に栽培して頂いた「人権の花」運動の感謝状贈呈式が11月30日から12月1日にかけて行われました。

贈呈式では、人権擁護委員から児童代表に感謝状が贈呈され、記念品として人権ノートが配られました。



繋いだ距離は 87 km

12月6日 町内外から105名が参加し、せいこドーム温水プールでスイム&ウォーキングリレーが開催されました。10時の開始とともに、自分にあった泳法で泳いだり、身体をほぐすようにゆっくり歩いて6時間を繋ぎました。日頃からプールに通い体力づくりを欠かさない参加者からは「一人で黙々とやるよりずっと楽しい」と笑顔で話してくれました。



しめ縄配布で車の安全運転を呼びかけ

12月8日 追分地区の国道234号弥生パーキングで老人クラブ友の会の皆さんが作成したしめ縄をドライバーに配布し車の安全運転を呼びかけました。この日のために作ったしめ縄は200個。警察官や交通安全推進員の方が駐車帯に車両を誘導し、会員が「スピードの出し過ぎに気を付けてください」と交通事故の撲滅に向けてしめ縄を手渡しました。

用意したしめ縄は1時間ほどですべて配布しました。



安全運転を呼びかける老人クラブ友の会の方々

社会福祉協議会に福祉用備品を寄贈

苦小牧生命保険協会が安平町社会福祉協議会に福祉関連の備品を寄付し、12月9日に目録が渡されました。

この事業は平成3年から始まり、胆振、日高管内とその近隣の生命保険会社10社の職員が募金を呼びかけ、集まった中から寄贈を行っています。安平町社会福祉協議会では「次世代歩行車」やシルバーカーなどを要望していたところ、今回認められました。同協議会では貸出をして多くの方に体験してほしいと考えています。



目録を渡す協会の浦田事務局長(写真左)



児童が税金について学習

12月10日役場税務課の職員が講師となり富岡小学校の5、6年生の教室で租税教室が行なわれました。

税金がある暮らしと税金がない暮らしではどんな違いがあるのか、ビデオを見て比較し、私たちが納めている税金がどのようなことに使われているのかを学び、教育や福祉、道路の維持や公園の管理、治安を守るなど私たちが安全で快適な生活を送るために使われていることを知ると、日本にある50種類もある税金の名称や使い道、世界で一番税金が高い国はどこなのか？などといったことに興味を示していました。

絵画展を実施中

現在、ぬくもりの湯のガーデニングホールで織田ミイさん（追分緑が丘）の絵画が展示されています。織田さんは趣味として長年油絵を描き続け、今回は花や自然をモチーフとした絵を出品。入浴に来た人も立ち止まって鑑賞していました。会場には1月18日まで展示しています。



救急法や心肺蘇生などを体験

12月13日に日本赤十字社北海道支部主催による救急法基礎講習会が町民センターで開催され、講義と実技が行われました。2人1組になり意識や呼吸の有無を確認後に、適切な対処法を学び、器具を使った心肺蘇生法などを受講者は体験していました。



大きなツリーを作成

安平町国際交流センターでは、12月13日に追分公民館のロビーで高さは5.2mクリスマスツリーを作成し、12月27日まで展示しました。昼食時には、皆さんで作ったピザとケーキを食べてクリスマスを楽しみました。



ジャンボツリーの前で撮影

選挙制度 120周年に感謝状を受賞

選挙制度120年を迎え、総務大臣感謝状が元・早来町選挙管理委員長の高岡清雄さん（早来栄町）に贈られ、伝達式が12月14日に役場早来庁舎で行われました。高岡さんは昭和50年に補助員として正規管理委員と共に4年間勤務。以後早来町の選挙管理委員や委員長を歴任し、選挙の管理執行及び明るい選挙の推進に尽くされたことが評価されました。

なお、今回の感謝状は北海道から10名、胆振管内で高岡さん1人が受賞されました。



感謝状を受ける高岡さん(右)

地域の福祉のために使ってください

北海道コカ・コーラボトリング株式会社は地域に対する社会貢献として昭和43年から道内の市町村の福祉施設へクリスマスプレゼント事業を行っています。

今回は安平町に自社製品の清涼飲料水816本を寄贈。12月15日に会社の担当者が社会福祉協議会を訪れ、島山会長に目録を渡し、「福祉施設の子供やお年寄りのために使ってください」と缶ジュースが入ったケースを贈呈しました。



早来断酒会の活動に表彰状

10月17日に第53回精神保健北海道大会が開催され、早来断酒会の永年の活動が認められ北海道精神保健協会から表彰されました。「飲み始めたら自分の意志では止められなくなり、家族や会社にも迷惑をかけてきた」と振り返る会員の皆さん。昭和60年6月9日に発足以来、早来断酒会はアルコール依存症の方の社会復帰に貢献してきました。町民に限らず、同じ悩みを持つ他市町の人も入会して病を克服中。毎月第2・第4月曜日に保健センターで活動しています。「関心がある方は役場健康福祉課まで連絡してください」と会員の皆さんは呼びかけていました。



自慢の歌を熱唱

追分カラオケ倶楽部が結成されて25周年を迎え、恒例となった歳末助け合いチャリティーカラオケ発表会が12月20日に追分公民館で開催され、地元会員などが自慢の歌を熱唱しました。厚真や栗山など近隣の町からの出演もあり、歌詞に合わせた衣装に着替えマイクを握ります。

歌の合間に舞踊の演技が入り、会場から大きな拍手が送られました。

最後に、地元出身でプロ歌手の正木はじめさんが舞台上で新曲などを歌い、聴衆を魅了しました。



年の瀬に

美味しいプレゼント

24Hチャリティー野球in ABIR A実行委員会では、年末に子供や高齢者などにケーキやおもちをプレゼントしました。

この実行委員会は、チャリティ事業として昨年8月29日から30日にかけて24時間野球大会を実施しました。その継続として、今回は12月18日に町内5箇所の保育園を訪問し、サンタクロース姿に扮したメンバーが一足早くクリスマスケーキを



園児たちの代表に手渡ししました。ケーキは一箱16人分の大きさもあり、1枚1枚の皿に切り分けられた甘い味の贈り物を園児みんな美味しく食べました。

また、12月20日には早来町民センターでもちつきを行い、あんこもちやきな粉もちを作りました。使った米の量は60キロ。蒸しあがったもち米を石臼に入れて杵でついていきま

す。木とは違い、石で出来た臼は重量感があり、杵を振り下ろす回数が少ないにも関わら

ず、柔らかく伸びのあるもちに仕上がりました。正月用の鏡もちも製作。実行委員やボランティアで協力してくれた方々によって出来上がったものは追分陽光苑や富門華寮など町内の福祉施設等に配られました。

主催した実行委員会代表の小林茂樹さんは、「これからも地域との関わりを深める活動を行なっていきたい」と抱負を語っていました。



遠浅保育園
(12月13日、遠浅保育園)



安平保育園(12月12日、安平保育園)



安平保育園(12月12日、安平保育園)

保育園発表会

12月に各保育園で発表会行われました。インフルエンザの影響で休園して十分な練習が出来なかった追分保育園。4月に統合が決まっている安平、早来、遠浅の各保育園は最後の発表会になりました。園児たちの演技に会場から、たくさんの拍手が送られていました。

追分保育園(12月5日、追分保育園)



早来保育園(12月13日、早来保育園)

早来保育園
(12月13日、町民センター)



遠浅保育園
(12月13日、遠浅保育園)



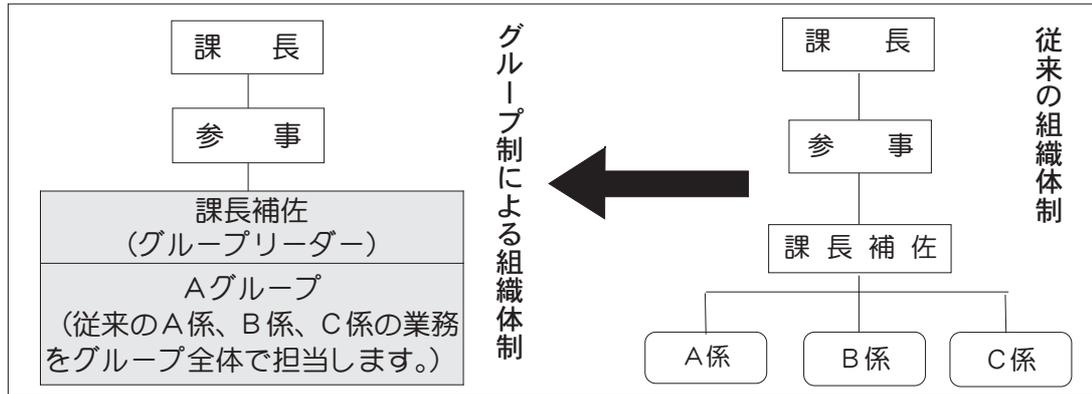
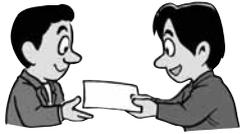
追分保育園(12月5日、追分保育園)

平成22年1月1日から 役場の組織・機構にグループ制 を導入しました

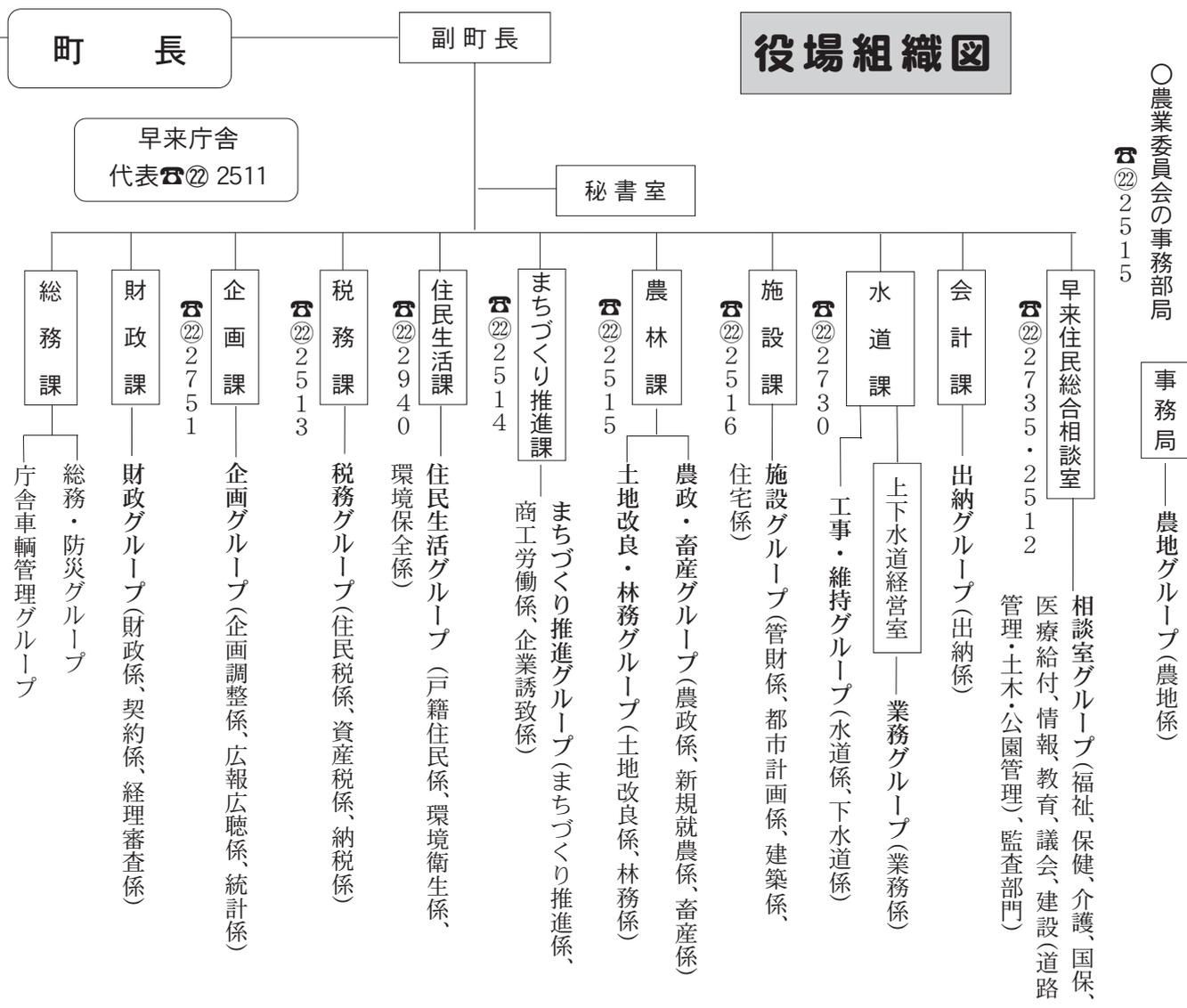
町では、今後の地方分権の推進等による社会情勢の変化に対応した効率的な組織を目指すため、平成21年1月1日から総務課と教育委員会で試行していたグループ制を平成22年1月1日から全部局に導入しました。

グループ制の導入による 組織体制の変更

係制が廃止となり、関連した業務を統合した「グループ」を編成することにより、職員間の相互の情報共有や仕事の繁閑の差を調整することができます。



役場組織図



○農業委員会の事務局
☎ 2515

グループ制導入のねらい

①業務分担による効率化と人材育成

係制からグループ制へと移行することで、職員的能力を有機的に組み合わせた業務の執行に最適な体制をとることができ、更に業務の繁閑差が調整できるとともに、情報共有による職員の能力・当事者意識の向上を目指します。

②組織力の向上

集団型の組織となるため、係間の隙間を埋め、組織としての一体感や帰属意識・当事者意識を高めることを目指します。また、業務分担の補完がスムーズになる等、課全体が総戦力化することで組織としての問題解決能力の向上を目指します。

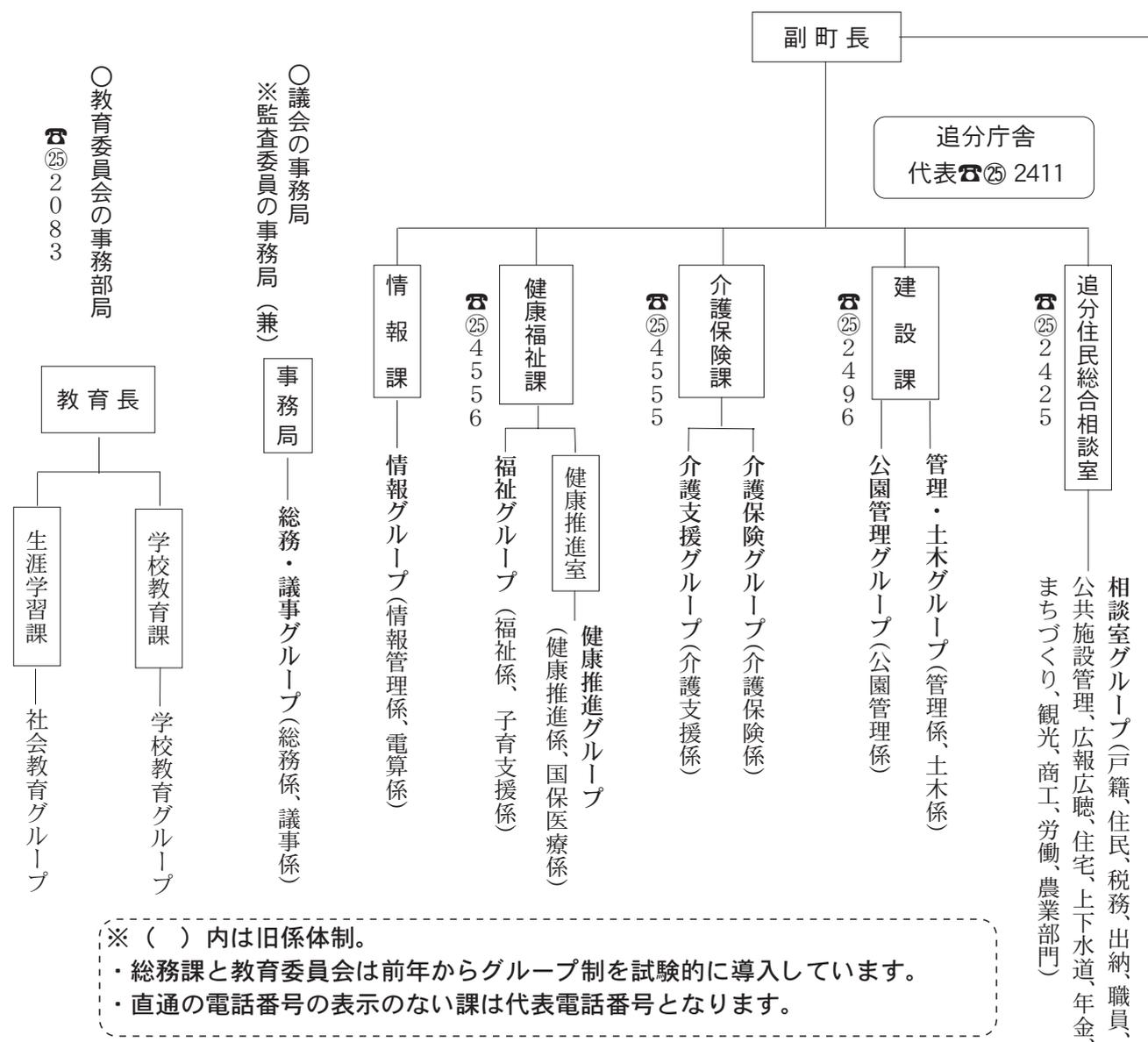
③課長を中心としたマネジメント体制の確立

グループ制の導入により、各個別業務における主担当

者・副担当者の配置や業務の進行管理など、課長によるリーダーシップの発揮が強く求められることとなります。また、業務運営を円滑に行うため、組織づくりに積極的に努めることが何より大切となり、このことにより組織全体の活力を高めることと、複雑多様化する住民ニーズに対して機動的に柔軟な対応を行える組織の構築を目指します。

今回のグループ制の導入による組織名の変更につきましては、町民の皆様に影響を及ぼすような業務上の変更は予定しておりませんが、すでに印刷を終えた在庫分の納入通知書や各種様式などの一部で旧組織名が混在することも予想され、町民の皆様にご不便をおかけする場合も想定されますが、ご理解とご協力をお願いします。

グループ制に関する問合せ
総務課総務・防災グループ
☎2511





宮本真理奈さん
(早来中3年)



曾根汰来郎君
(早来小4年)



三浦芽依さん
(早来小5年)



伊藤雅也君
(追分中2年)

輝かしい成績を祝す

平成21年11月24日に開催された定例教育委員会において、平成21年度安平町子ども文化・スポーツ賞(前期)が決められました。

今回受賞されたのは、子ども文化賞1名、子どもスポーツ奨励賞8名の個人9名。各賞を受けられた児童生徒の紹介と輝かしい成績についてお知らせします。

なお、受賞式は、それぞれの学校の終業式に合わせて行われました。



三島涼花さん
(追分中2年)



吉田優大君
(早来中3年)



阿部憲人君
(早来中2年)



曾根瑛未奈さん
(早来中2年)



沼田真里奈さん
(早来中2年)

平成21年度安平町文化・スポーツ賞(前期)

平成21年4月1日～9月30日

氏名(学校名・学年)	種目	事績	表彰の種類
宮本真理奈(早来中3年)	民謡	日本民謡協会民謡民舞少年少女道央連合大会出場し民謡コンクール中学生の部優勝(全国大会出場)	文化賞
曾根汰来郎(早来小4年)	陸上	北海道小学生陸上競技大会苦小牧予選男子4年100mで第2位入賞、同800mで優勝し全道大会に出場	スポーツ奨励賞
三浦芽依(早来小5年)	陸上	北海道小学生陸上競技大会苦小牧予選女子5年100mで第3位入賞し全道大会に出場	スポーツ奨励賞
伊藤雅也(追分中2年)	陸上	苦小牧地方中学校新人陸上競技大会男子砲丸投げで優勝し全道大会に出場	スポーツ奨励賞
三島涼花(追分中2年)	陸上	苦小牧地方中学校新人陸上競技大会女子砲丸投げで2位(参加標準記録突破)に入賞し全道大会に出場	スポーツ奨励賞
吉田優大(早来中3年)	陸上	中体連胆振東部陸上競技大会男子800mで優勝し全道大会に出場	スポーツ奨励賞
阿部憲人(早来中2年)	陸上	苦小牧地方中学校新人陸上競技大会男子100mで参加標準記録を突破し全道大会に出場	スポーツ奨励賞
曾根瑛未奈(早来中2年)	陸上	苦小牧地方中学校新人陸上競技大会女子100ハードル及び女子4種競技で優勝し全道大会に出場	スポーツ奨励賞
沼田真里奈(早来中2年)	ソフトテニス	中体連胆振四地区大会ソフトテニス競技女子個人戦で3位に入賞し全道大会に出場	スポーツ奨励賞

今月の 我がマチの 一番星☆



第4回知事杯日中パークゴルフ姉妹提携記念大会で挨拶する山田さん



山田 薫さん

時代の先を読み 新しいことに挑戦

「5年ごとに開催され、今年10月に北海道では初めて行われる第13回全日本ホルスタイン共進会ですが、第1回から6回まで出場しました」と振り返る山田薫さん（遠浅）は、第1回は昭和天皇や吉田首相、第3回目はご成婚間もない現在の天皇陛下ご夫妻がお見えになったと言います。

滝川市出身で、家族と共に現在地に移住し、酪農を始め最盛期には乳牛は200頭と10名ほどの実習生を受け入れていました。

昭和31年から3年間アメリカに留学し、ミルウォオーキーで大ビル会社と牧場経営するドイツ人の下で働きながらウイスコンシン州立大学で酪農を学び、「地元の小学校では牛乳は無料で飲み放題でした」と滞在先でのエピソード

を回想していました。帰国後、牛舎増築や草地造成などに着手し、家畜共進会では上位入賞するなど優良牛の生産に力を注ぐ一方、昭和58年ころから木製サイロの研究調査を始めました。

自宅前にある木のサイロは町の観光スポットとなっており、国際文化交流にも理解のある山田さんは、中国の総領事館の要人を招きパークゴルフで親交を深めてきました。

北海道は、中国との親善を推進してきた山田さんに日中姉妹提携の記念大会に毎年知事杯のカップと賞状を提供し、温厚で気さくな山田さんですが、時代の先を読む才能があり、経済発展が続く現在の中国で砂漠化が進み、植林の必要性を提唱。「新しい試みには、今後も積極的にチャレンジしていきたいですね」と笑顔で語っていました。

国際交流の原点は相互理解から

地域福祉協力員や体育指導委員としてさまざまな活動に精力的に取り組む小笠原愛子さんは、町の依頼を受けてイベントの司会を担うなど町内外に知られた人で、ご存知の方も多いと思います。

「いろいろなことに関わってきましたが、国際交流事業が思い出深く、新たな発見がありました」と話す小笠原さんは「言葉の壁により、日本人は外国人と距離を置いてしまう」と日本人の閉鎖的な一面を指摘。10年ほど前に小笠原さんの家がホームステイ先に選ばれ、アメリカの高校生を受けることになり、「まったく日本語が分からない生徒に辞書は必需品でしたが、最後は身振りや手振りで意思が通じるようになりました」と体験談を語り、英会話教室や料理講習会をとおして文化交流を進めてきました。「もちろん外国から取り入れるばかりではなく、日本の伝統や習慣なども伝え友好関係を築いてきました」と付け加えます。「小中学校などで英語を教える非常勤の外国人講師が言った、international(国際) friendship(友情、友愛)という言葉が気に入っています」と小笠原さんは賞賛。「お互いを知る手段として言語も大切ですが、相手のことを理解しようとするのが

第一歩です」と話し、「国際交流の原点は相互理解ではないか」と感じるようになったと言います。

「最近ブラジルやロシアなどいろいろな国の人が安平町に来ますが、これからも温かいもてなしで迎えて行きたいですね」と町のイメージアップを目指しています。



小笠原愛子さん

国際文化交流にも理解のある山田さんは、中国の総領事館の要人を招きパークゴルフで親交を深めてきました。



国際交流事業として料理を作る小笠原さん(写真手前)

お知らせ

相続等により農地を取得した場合は届出が必要です。

農地法改正に伴い、相続、法人の合併・分割、時効等の権利により農地を取得した場合は、農業委員会への届け出が必要になります。該当となる場合には、農業委員会事務局までお越しく下さい。

問合せ 安平町農業委員会事務局（役場早来庁舎内）
☎ 2515

ヒブワクチン接種料金の一部を助成します

乳幼児の細菌性髄膜炎や肺炎の原因菌の半数以上を占めるのが「hib(ヒブ)」です。町ではヒブによる細菌性髄膜炎や肺炎等の感染を予防するため、1月からヒブワクチンを接種した場合の料金の一部助成をしています。

ただし、ヒブワクチンは任意接種のため、接種を希望される場合は事前に必ず医師とよく相談のうえ実施してください。

対象年齢
生後2か月以上24ヶ月未満
接種時期と回数（表による）

接種開始時期	接種のスケジュール
生後2か月以上7か月未満	4～8週間の間隔で3回接種、3回目終了からおおむね1年後に1回の追加接種
生後7ヶ月以上12か月未満	4～8週間の間隔で2回接種、2回目終了からおおむね1年後に1回の追加接種
生後12ヶ月以上24ヶ月未満	1回接種

助成の対象

平成22年1月1日以降にワクチンの接種を受けた乳幼児の保護者

※平成22年1月以前に受けた

分については対象とはなりません。

※ワクチン接種後1年を経過した場合の申請は対象となりませんので、ご注意ください。

助成額

一回につき 3,250円
生活保護世帯に属する方は全額助成。

町内で接種できる医療機関

畑山医院・追分菊池病院・早来医院

接種のお申し込みは医療機関に直接お願いします。

特別な事情で町外医療機関での接種を希望する方は事前に健康福祉課健康推進グループにご連絡ください。

※ワクチンの手配がありますので、必ず事前に予約をしてください。

助成の申請方法

接種の領収書と印鑑、振込先の通帳をご持参のうえ、左記で手続きを行ってください。
・健康福祉課健康推進グループ（追分庁舎）

・住民総合相談室（早来庁舎）

問合せ 健康福祉課健康推進室健康推進グループ

☎ 4556

広告欄

謹賀新年

今年もよろしくおねがいたします。
身近なプロがあなたの安心をサポートいたします。

1日車検の民間車検場

ポニーがいる整備工場

おいわけ自動車工業(株)

国家1級自動車整備士工場
自動車整備技術コンサルタント認定工場
(室蘭認C-000001)

驚きの明るさ!!

12V-24V 35W



HID 作業灯

既存の⊕⊖線につなぐだけ
6000K 930g
ユニット内蔵一体式。
防塵防水仕様

トラクター・作業機へ



TEL 25-3786 (代)
追分若草3丁目69

平成22年度

追分保育園入園児募集

追分保育園では、平成22年度の入園児申込みの受付を開始します。該当する幼児で入園を希望する方は入園申込書などの必要書類にご記入のうえ、左記までお申込み下さい。
申込み期間
1月4日(月)～2月10日(水)

申込み 健康福祉課にある申込書類に記入し、福祉グループに提出してください。※土日、祝日を除く。

【保育条件等】
開設期間 通年(日曜、祝日、休園日、年末年始休業日を除く。)

開設日・時間

月～土曜日 8時～17時

入所年齢 0歳児～

入所条件 保育に欠ける子

(保護者の就労等で保育が出来ない状況)

保育料 安平町の条例に基づき所得階層制による

給食 有(3歳以上は副食)

送迎 保護者対応

定員 45名

必要書類

①入園申込書②就労証明書③

世帯全員の平成21年分源泉徴収票または確定申告書等
問合せ 健康福祉課福祉グループ ☎ 4556

安平町在宅介護者を支える会 交流会のお知らせ

介護者を支える会では、介護者が元気になるための交流会を計画しました。

介護をされていなくても、「在宅介護者を支える会」に賛同される方の参加も大歓迎ですので、ぜひご参加ください。

日時 1月21日(木)
9時30分～13時10分
場所 しのめ交流館

内容 介護についての情報交換
参加費 1人 500円
(昼食代は参加費に含まれていません。)

申込み期限 1月19日(火)
問合せ 早来相談センター
☎ 22735

介護保険課 ☎ 254555
早来富岡 菊地 ☎ 223603
※交通手段は町内循環バス等をご利用ください

安平町まちづくり委員会情報

「安平町まちづくり基本条例」について審議・調査をおこなっています

まちづくり委員会では、これまで町から諮問のあった「安平町総合計画の策定」や「町花・町木の指定」について答申してきましたが、平成21年9月8日に「安平町まちづくり基本条例の制定」について諮問され、4回にわたる調査・審議を行ってきました。

町では、これまで色々な計画や条例などを町が主体的に策定してきましたが、「安平町まちづくり基本条例」の策定に当たっては、まちの憲法ともいべき条例の性格上、町民の総意に基づくものでなければならないことから、ゼロからのスタートという新たな手法により進められており、住民の代表であるまちづくり委員会などの意見や提言を受けるところから始めています。

今後の予定ですが、まちづくり委員会では今後も引き続き調査・審議を行い、最終的には答申という形で町に提出され、町では提出された答申書の内容を十分尊重し、条例の素案を作成したのちに、全町民を対象としたパブリックコメント(住民意見提案制度)により意見を求めていくこととしています。

また、条例の策定段階で、より多くの皆さまからのご意見等をいただくため、まちづくりフォーラムを2月20日(土)に開催する予定で進めています。

詳細については広報あびら2月号に掲載しますので、町民皆さまの多数のご参加をお願いいたします。

～まちづくり基本条例は、町民みんなの総意でつくりあげるもの～

町職員人事

新規採用(1月1日付)

健康福祉課健康推進室健康推進グループ

主幹 小山晴子

広告欄



安平町から直送します! ホンモノの雪ダルマ

雪ダルマは通年お届けいたします。

問い合わせ先・販売元

郵便振込口座番号 02720-2-27677

加入者名 ハヤキタユキダルマカイ

〒059-1501 安平町早来大町129

(☎ 0145-22-4428)

雪ダルマ A(左)
4,000円 重量3kg
雪ダルマ B(右)
5,000円 重量7kg
※郵送料・消費税込

町内求人情報 (1月5日現在)

事業所・所在地・電話	職種	賃金・就業時間	年齢・休日	免許資格・その他
特別養護老人ホーム 追分陽光苑 (追分花園4-5-6) 担当：今野 ☎⑤ 2233	介護職員 (臨時職員)	月額 143,550 ~ 156,750 円 7時30分~16時 9時30分~18時 10時30分~19時	年齢制限なし 日祝他	介護福祉士 普通自動車運転免許 1種 雇用・労災・健康・厚生
田口トレーニングファーム (早来富岡72) 担当：田口 廣 ☎② 3963 ※未経験者でも可	調教スタッフ	月額 160,000 ~ 230,000 円 5時30分~17時	年齢制限なし その他	普通自動車運転免許 1種 雇用・労災・健康・厚生
有限会社安栗スワイン (東早来19-1) 担当：岩花 ☎② 4281	養豚飼育員	月額 120,000 ~ 200,000 円 8時~17時	40歳以下 その他	普通自動車運転免許 1種 雇用・労災・健康・厚生
※つながらない場合は8時~17時までのみ携帯電話にご連絡ください。☎090-7518-3177				
A I G エジソン生命保険 株式会社 千歳団体営業所 (千歳市千代田町5-1-3 エジソンビル2階) 担当：牧元所長、岩永参与 ☎0123-23-3629	陸上自衛隊駐屯地(安平駐屯地)にて保険の 販売及び保全業務 自衛隊の各部隊にて営 業、または自衛隊退職 者(OB)に対する訪 問営業	月額 150,000 円 9時~17時	年齢制限なし その他	普通自動車免許1種 労災・健康・厚生
医療法人 同和会 追分菊池病院 (追分本町1-43) 担当：菊池総務部長 ☎⑤ 2531 ※パートも可能ですのでお問合せください。	准看護師	月額 168,000 ~ 252,000 円 8時30分~17時30分 17時~9時	59歳以下 その他	准看護師 雇用・労災・健康・厚生
※ハローワーク求人情報抜粋のため、既に採用済みの場合もあります。ご希望の職場がございましたら、各事業所の担当者にご確認ください。 ※面接にはハローワーク発行の紹介状が必要です。				

苫小牧市医師会休日当番実施医療機関

(診療時間 9時~17時)

1月 (内科)	1月 (外科)
10日 吉田内科医院 川沿町4 ☎⑦ 6233	10日 同樹会苫小牧病院 新中野町3 ☎⑥ 1221
11日 いまい内科クリニック 双葉町1 ☎⑦ 8686	11日 とよた腎泌尿器科クリニック 元中野町2 ☎③ 2000
17日 みなかみ医院 新中野町3 ☎② 2335	17日 苫小牧日翔病院 矢代町2 ☎⑦ 7000
24日 合田内科小児医院 音羽町2 ☎③ 9208	24日 にっしん泌尿器科クリニック 日新町2 ☎⑦ 1100
31日 三好内科胃腸器科クリニック 豊川町3 ☎⑤ 7711	31日 苫小牧東部脳神経外科 北栄町2 ☎⑤ 5000
2月 (内科)	2月 (外科)
7日 すえくに医院 川沿町6 ☎⑦ 8385	7日 苫小牧消化器科外科 北栄町3 ☎⑤ 6655



苫小牧夜間休日急病センター (苫小牧市旭町2丁目) ☎③ 0001

○科目 内科、小児科

○診療時間 平日：19時~翌朝7時 土曜：14時~翌朝7時

日曜・祝日、年末年始(12/31~1/3)：9時~翌朝7時

善意

(11月20日～12月18日受付分) 町へ

安平町鉄道資料館展示用
S L用前照灯(1機)

・ 迫田達夫さん(安平)

町内幼稚園・小中学校清掃用
雑巾

・ しらゆりの会

代表 工藤康子さん

追分公民館図書室蔵書用

宮沢賢治必携ほか関連参考文
献(全126冊)

・ 福田節子さん(札幌市)

社会福祉協議会へ
リサイクルエコ袋

・ 大泉秋子さん(早来北町)

チャリティゴルフコンペ収益金

・ ANAダイヤモンドゴルフ
クラブ(早来新栄)

篤志寄付

・ 遠浅自治会婦人部

広報あびら12月号

・ 安平町点訳赤十字奉仕団

歩行車・手すり他8品

・ 苦小牧生命保険協会

缶ジュース等20ケース

・ 北海道コカコーラボトリン
グ(株)苦小牧事業所

缶ジュース等10ケース

・ 北海道コカコーラボトリン
グ(株)千歳販売課

遠浅・早来・富岡・安平小学校・
早来中学校へ

雑巾150枚(5校分)

・ 大泉秋子さん(早来北町)

次回町広報配布日は

□町広報配布日は次のとおりです。

広報笑顔(スマイル)1月号は20日(水)、広報あ
びら2月号は5日(金)が配布日となります。

企画課広報広聴係 ☎2751

公営住宅・特公賃住宅・町
営住宅の入居者募集は、笑顔
(スマイル)をご覧ください。

確定申告に関するお知らせ

平成21年分の所得税(住民
税及び個人事業税)の確定申
告の受付が2月16日(火)から
始まりません。(還付申告は1
月から受け付けています。)

確定申告書は、「前年の申
告書控え」や「確定申告書の
手引き」を参考に自分で作
成し、お早めに提出してくだ
さい。作成した確定申告書は、
郵送により提出できます。

また、確定申告書は、国税
庁ホームページの「確定申告
書等作成コーナー」を利用し
て簡単に作成することがで
きます。詳しくは税務署へお
尋ねください。

なお、税務署では所得税確
定申告の作成指導及び受付
を次の会場で行いますので、
印鑑・「前年の申告書控え」・
確定申告に必要な書類をご
持参のうえ会場にお越し
ください。(前年、苦小牧駅前
プラザ「e g a o(エガオ)」
7階の会場などでパソコン
を利用して申告された方で
「お知らせはがき」が届いて
いる方はそのはがきも持参
してください。

会場 苦小牧駅前プラザ
「e g a o(エガオ)」7階
期 間 1月21日(木)～
3月15日(月)

※期間中の土日、祝日を除く。
受付時間 9時～16時30分
問合せ 苦小牧税務署

☎0144・32・3165

お誕生おめでとうございます

寺西志遠

11/14(男・将二) 早来富岡

水澤詩織

12/3(女・健二) 追分弥生

太田翼

12/11(男・健二) 早来大町

ご結婚おめでとうございます

丸岡洋介(早来栄町)

木村真美(苦小牧市)

お悔やみ申し上げます

高澤 勇 12/5 (93) 早来北町

鳥越 幸男 12/12 (50) 追分白樺

濱野 誠一郎 12/12 (49) 追分白樺

梅津 ミイ子 12/14 (89) 追分中央

横田 悦行 12/20 (78) 安平

マチの人口・世帯

総人口 9,113人(+4)
男性 4,528人(-1)
女性 4,585人(+5)
世帯数 4,259世帯(+3)
(平成21年12月25日現在)

交通事故死 ゼロ運動

平成21年12月25日現在 208日

運転免許証更新時講習

		2月	時 間	場 所
一講	般 習	3日・9日・11日・18日・24日・30日	10時00分	苦小牧市 安全運転センター
		12日	13時30分	
優 講	良 習	2日・4日・5日・8日・10日・12日 16日・17日・19日・25日・26日・31日	10時00分	
		3日・18日	13時30分	
		11日・24日	15時30分	
このほかの講習日程(違反・初回)については、苦小牧警察署に お問合せください。☎0144・35・0110				

元気に 大きくな～れ!



吉毛利 ^{みつあき} 充晟くんと
お母さんの尚子さん
(早来栄町)



松原 ^{みお} 美桜ちゃんと
お母さんの貴子さん
(早来富岡)



松尾 ^{かずのり} 和則くんと
お母さんのしのぶさん
(早来栄町)

CHILD & MOTHER

表紙

先生の動作をまねて日本舞踊
の稽古
12月14日 青葉会館

編集後記

明けましておめでとうございませう。今年もたくさん
のまちの話題をお伝えして
いきますので、広報あびら
をよろしくお願ひします。

町内でも蔓延した新型イ
ンフルエンザが落ち着いて
きたように感じますが、季
節性インフルエンザが流行
り始める時期ではないで
しょうか? うがい・手洗い
など日常的に行い、感染予
防に努めましょう。(K)
2010年の新しい年を
迎えた。

10年前を振り返ると、3
月に有珠山が噴火。町職員
として5月に被災した町の
避難所で地元職員と行政活
動に従事。ほか町の住民の
ために働くのは初めてだが、
各地から支援団体も加わり
連帯意識も密になった。

安平町が誕生して4年に
なるが、一つの自治体とし
ての意識がさらに高まるこ
とを期待したい。
(N)

発行

安平町 企画編集／企画課企画グループ

☎059-11595

勇払郡安平町早来大町95番地 ☎0145-2511